

# 「高知県橋梁会 創立45周年記念研修会および祝賀会」報告

高知県橋梁会理事 西川 準二

(一社)土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催による、「創立45周年記念研修会および祝賀会」が去る12月9日(金)に高知市本町の「高知会館 白鳳の間」で開催された。

高知県橋梁会は昭和52年に設立以来、本年を持って45年を迎えることとなった。これも一重に皆様方のご指導ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

式典に先立ち、令和2(2020)年5月7日に逝去された村山保元会長(二代目)のご冥福をお祈りし、参加者全員で1分間の黙とうを行った。

研修会では、劣化因子を遮断する超緻密高強度繊維補強コンクリート、新技術推進とインフラDX、高知県橋梁会45年の歩み、ルワンダでの道直し体験の4つの講演が行われた。師走を迎え何かと忙しい時期にも関わらず107名の参加があり有意義な記念研修会となった。

## 創立45周年記念研修会(13:30~17:00)

開催に先立ち、右城猛会長より開催の挨拶が行われた。高知県橋梁会の設立経緯、今日までの当会の歩みや歴代理事、会員各位への謝辞、今後の活動等の報告を行なった。

また本日講演される4名の講師と講演内容の紹介がなされ、多数の参加者に感謝の言葉を述べた。



右城会長による記念研修会開会の挨拶

最初の講演はJ-ティフコム施工協会の技術委員 植田健介氏。「劣化因子を遮断する超緻密高強度繊維補強コンクリート」と題して橋梁の床版補修、橋脚の凍害による損傷部位や沓座劣化の補修に超緻密高度の繊維補強コンクリートを使用

した事例や性能、施工方法等の説明が行われた。橋梁の部位別では半数以上が床版の損傷であるが、このコンクリートは厚さ2cm程度で高強度と耐久性を得られるため、従来の上面増厚工法と比較して高さの取合せや施工時間等で非常に優位であり、また水密性に優れるため橋面防水が必要ないと紹介がなされた。材料価格が高いため価格低下が今後の課題であると説明された。

(13:40~14:40)



最初の講演をされる植田健介氏

2番目の講演は(株)A.L.I. Technologiesの春田健作氏。「新技術推進とインフラDX」と題して、ドローン技術の変遷や今後の橋梁点検の見直し

等について紹介があった。最初に春田氏のプロフィールの紹介があり、橋梁メーカー、国交省国土技術政策総合研究所、豊中市役所、京都府建設交通部、ジャパンインフラウェイマークと官民を経験し現在はプロジェクト支援室でインフラ分野のデジタル技術の活用に従事しているとの説明があった。特に行政側と民間の仕事内容を両側の立場で諸事情を交えながら説明があり興味深く聞かせて頂いた。橋梁点検の予算は来年から徐々に減少し点検方法も近接目視からドローン技術に変化していくとの説明がなされた。また、ドローン点検の状況について現場と会場のLIVE中継も行われた。

( 14:50 ~ 16:00 )



2 番目の講演をされる春田健作氏

3 番目の講演は高知県橋梁会の岡林理事。今年で発足 4 5 年を迎えた橋梁会の報告で「高知県橋梁会 4 5 年の歩み」と題して紹介された。

橋梁会が設立された背景、歴代四名の会長紹介、理事会等の説明、会員数は平成 1 0 年の 5 3 社をピークに平成 2 0 年に 2 6 社まで減少したが、現在では過去最高の 5 8 社となっている事を説明した。年 3 回の研修会や懇親会、定例総会、現場見学会の楽しい思い出、3 5 周年や 4 0 周年記念式典の様子を当時の写真を交えながら紹介された。最後に「高校生模型コンテスト」の共催や、「けんせつの絵コンテスト」の審査員を行うなど、高知地域での土木技術者の社会的評価を

高める活動により平成 2 3 年に土木学会四国支部より「地域貢献賞」を受賞したことが紹介された。

( 16:10 ~ 16:35 )



3 番目の講演を行った岡林理事



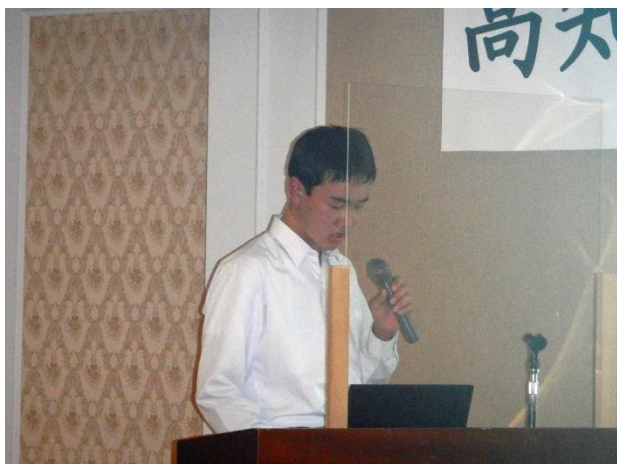
会場の様子

4 番目の講演は 高知工業高等学校電気科 3 年の 宮崎惇仁君。「ルワンダでの道直し体験」と題して今年の夏休み中の 2 0 日間にルワンダで道路造りをした体験談を説明した。高知工業高校の「創立 1 1 0 周年式典」で京都大学の木村亮教授が土のうを使って途上国の道路改修の活動をしている紹介をしたところ、その日の内に「体験させて下さい」と教授にメールし実現したとのことであった。凄い行動力である。道路造りでは現地の村人と一緒につるはしやスコップで土を掘り返し、そこに土のうを敷き、大き



な木づちでたたいて強度を上げて道路を造ることが紹介された。また現地の食事は心配したけれど思ったよりもおいしかったと説明した。

(16:35 ~ 16:55)



4 番目の講演を行った宮崎君



宮崎君へ記念品贈呈



質疑される受講者



司会を担当した西川理事

最後に森下副会長より本日の講演者や参加者への謝辞を述べ、研修会を修了した。



閉会の挨拶をする森下副会長

#### 4 5周年記念祝賀会 (17:30~19:30)

記念研修会終了後、3階の「飛鳥の間」に場所を移し記念祝賀会を開催した。参加者は講師を含め59名であった。

祝賀会前に4階の撮影フロアで記念写真撮影が行われた。



高知県橋梁会45周年記念写真

祝賀会に先立ち右城猛会長より開催の挨拶が行われた。45周年の記念祝賀会ではあるがコロナが収束しない状況を鑑み、規模を拡大しないようにした旨の説明を行い出席者への謝辞を述べた。



記念祝賀会の挨拶をする右城会長

次に高知県橋梁会の名誉会員で参議院議員の高野光二郎先生の祝辞を秘書が代読された。



祝辞を代読される秘書

引き続き新入会員の(有)ツノ工業が紹介された。



(有)ツノ工業による入会の挨拶



祝賀会は愛媛大学の矢田部教授による乾杯の音頭で開催された。



乾杯の音頭をとる矢田部教授



歓談の様子



祝賀会の様子



出席された女性技術者と会長の記念撮影

中締めは、森下副会長が行った。



歓談の様子



中締めを行う森下副会長

あとがき

高知県橋梁会は昭和52(1977)年4月に「高知県橋梁・構造物技術者」として発足され、今年は創立45周年という節目の年にあたる。本来なら来賓をお招きして記念式典を盛大に開催する所ですが、コロナが収束しない状況のため恒例の12月研修会・忘年会と同規模で記念研修会および祝賀会として開催した。

5年後の50周年記念式典は盛大に開催する予定である。